

Japan creation space monova (モノヴァ)は、モノづくりの情報発信をするショールームです。
多彩な技術を活かし活躍する、日本各地のモノづくり企業の最新情報をお届けいたします。

詳細情報をご希望の方は、是非お気軽にお問い合わせくださいませ。

【トピックス一覧】

▼ 展示会・販売会のご案内

① 【好評開催中】 角館伝四郎 新作「重皮 EGAWA」 展示販売会



2021年2月4日(木)～3月30日(火)

会場: monova内 特設会場

主催: monova

樹木の皮を“革”として、財布や名刺入れなどを仕立てた新作「重皮」。自然素材ならではの、経年変化の美しさも魅力です。

会場では「重皮」に加え、新生活にぴったりな茶筒などのテーブルウェアも併せてご覧いただけます。

▼ NEW新作商品のご紹介

② 山口久乗 おりんの音をおまもり。「置き風鈴」で邪気払い。



2021年 2月発売開始

株式会社山口久乗「かざりん」

価格: (黄銅) ¥21,000 + 税 / (青銅) ¥25,000 + 税

★2020年度全国伝統的工芸品公募展・入選

古くから邪気払いや魔除けとして大切にされてきた「音」。新型コロナが流行しているいま、災いを遠ざけてくれる「おまもり」として、そばに置きたいアイテムです。

▼コロナ禍の新しい展示スタイル

③ 野々山 籐屋 新たな取り組みとして、接触を減らせる新カタログを製作。



野々山
籐屋

有限会社野々山籐屋が新カタログを製作。

OZONE3階カタログライブラリー

monovaショールーム内で展示中

モニターを使わず、非接触で情報を読める、自立型カタログを設置。無人の展示スペースでもトイレや浴室の籐むしろのフルオーダーの注文件数が伸びています。

<お問合せ> Japan creation space monova 担当: 岩下
tel: 03-6279-0688 mail: info@monova-web.jp WEB: <https://www.monova-web.jp>

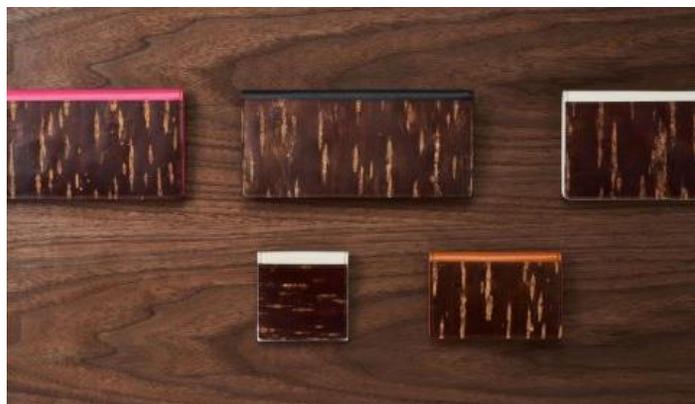
monovaでは各メーカーとの直接のお取引をサポートしています。
ご関心のあるバイヤー・プレス様に出展メーカーをご紹介しますので、気軽にお声掛け下さい。

秋田県 角館伝四郎の新品「重皮 EGAWA」をご紹介

【好評開催中】展示販売会：2021年2月4日（木）～2021年3月30日（火）

樹木の皮を革として、財布や名刺入れなどの持つて使うアイテムにした角館伝四郎の意欲作

角館 伝四郎



長財布（こうよう）



名刺入れ（こうよう）



小銭入れ（こうよう）



使うほどに増す「本物」の美しさ

1851年に創業した藤木伝四郎商店（角館 伝四郎）は、自然素材である桜皮と向き合いながら、秋田県角館で樺細工を作り続けています。

2020年11月に発表した「重皮 EGAWA」は、「樺細工」と「牛革」を組み合わせた、名刺入れと財布の新しい製品です。

縫製は、革手袋の産地・東かがわにある革小物メーカー、ルポア株式会社手がけています。

表面の桜皮は磨かれ、樹皮そのもののしっとりとした光沢と手触りを味わうことができます。そして、牛革と重ねることにより、毎日の使用に応えるしなやかさを合わせ持ちます。

桜皮・牛革ともに、日々触れることで光沢が増し、美しさが深まっていく様子を楽しめます。4色のカラーバリエーションがあり、「こうよう（オレンジ）」では、経年変化による美しさに定評のある栃木レザーを採用し、使用していく過程をいっそう楽しむことができます。

また、「カードを多数収納してもスマートに収まる」「コンパクトでも小銭が取り出しやすい」などの使い勝手を追求する事により、ストレスなく愛着を持ってご使用頂けるものとなりました。

この度、新宿monovaにて、「重皮」の展示販売会を開催中です。素材美・心地よい使い心地を是非お楽しみください。

2020年11月発売開始

重皮（えがわ）<あわゆき・しだれ・ぶげやしき / こうよう>

価格：長財布 ￥16,000 + 税 / ￥18,000 + 税
名刺入れ ￥10,000 + 税 / ￥12,000 + 税
小銭入れ ￥10,000 + 税 / ￥12,000 + 税

サイズ：長財布 W193×H93×厚み15mm
名刺入れ W110×H73×厚み14mm
小銭入れ W75×H75×厚み14mm

デザイン：山田佳一郎

素材：桜皮、牛本革

仕上げ：研磨（桜皮部分）

色：あわゆき（白）・しだれ（ピンク）・ぶげやしき（黒）・こうよう（オレンジ）

monova 展示販売会

期間：2021年2月4日（木）～2021年3月30日（火）

10:30 - 18:30 / 水曜定休・最終日は15時まで

会場：monova内 特設会場（入場無料）

場所：東京都新宿区西新宿3-7-1

リビングデザインセンターOZONE 4階

主催：monova

【株式会社 藤木伝四郎商店】武家屋敷の街並み、桜の名所として知られる秋田県角館。樺細工は、その雪深い地域の武士の手内職として作られてきました。藤木伝四郎商店は江戸時代末期1851年の創業。厳選された素材と高い技術力で、確かな製品を作り続けています。モダンでシンプルなデザインは現代の暮らしにすっと溶け込み、静かに存在感を放ちます。■<http://denshiro.jp/>

どこでも鳴らせる「置き風鈴」で邪気払い 新型コロナウイルス収束の願いを込めて、おりんの音色をおまもりに。

【伝統工芸高岡銅器が生むおりんの響き。好きな時に自由に聞ける心の癒し】

富山県高岡市で110余年、神仏具、美術銅器の制作卸を営んでいる株式会社山口久乗(本社：富山県高岡市内免、代表取締役社長：山口康多郎)が、場を整え、邪気をはらうといわれているおりんで屋内用の置き風鈴「かざりん」を発表しました。透明感のある涼やかな音は、邪気をはらい、その空間が清められた心地にしてくれます。

昨今の生活スタイルや価値観の多様化に伴い、除夜の鐘やラジオ体操など、様々な日本の音の風物詩が、近所迷惑ということで大きく変化しています。軒先に風鈴を掲げるのも、地域によっては憚られるようになってきました。

「かざりん」は、お部屋の設えとしての置き風鈴なので、誰に憚ることなく、季節にかかわらず、その清らかな音色を楽しむことができます。「富山県推奨とやまブランド」に認定された「久乗おりん」の最新作を、是非お試しください。



2021年2月発売開始 「かざりん」

価格：黄銅 ¥21,000 + 税 / 青銅 ¥25,000 + 税

本体サイズ：W80 × D50 × H255mm

素材：(おりん)銅合金 (フレーム・ベース)真鍮

カラー：黄銅・青銅

デザイナー：(プロダクト)磯野 梨影 / (グラフィック)スワミヤ

受賞歴：2020年度全国伝統的工芸品公募展 入選

■現在 monovaショールームで取り扱い中



久乗おりん



黄銅



青銅

■昔からおまもりとして大切にされてきた「風鈴」の響き

古来、日本では、強い風は流行り病や邪気などの災いを運んでくると考えられていました。そこで、唐から伝わった「風鐸」がお寺の本堂などの軒の四隅に吊るされ、音が届く範囲を聖域として、災いから身を守ろうとする風習が生まれました。平安時代には小型にした風鐸を貴族が魔除けとして軒先につるすようになり、「風鈴」という呼び名がこの頃から使われるようになったとされています。

■かざりんの特長

1. 季節を問わず、1年中使えるお部屋のおまもり

「かざりん」は風鐸と同じ銅合金製です。古来から魔除けやおまもりとされてきた「佛の音」由来のおりんの響きをもっています。

新型コロナウイルスが猛威を振るう昨今だからこそ、かざりんの出番。お部屋の中で心地よく響く清らかな音で、私たちに流行り病や災いから護ってくれるのではないのでしょうか。

2. 現代の空間にマッチしたデザイン

デザイナー磯野 梨影氏によるデザイン。スタイリッシュな中に柔らかさを感じさせるフレームは真鍮製です。カラー展開は真鍮の素材の神々しさをストレートに表した「黄銅」と、伝統的着色技術で爽やかなブルーを表現した「青銅」の2色です。小さなおりんの可憐な音を表現した乳白パール色の短冊が、風の揺れによってかすかに煌めきます。全国伝統的工芸品公募展でも入選した、音もデザインも現代の生活にマッチした風鈴です。

【株式会社山口久乗】富山県高岡市は鋳物産業で知られる職人の町です。明治40年(1907年)創業の山口久乗は、100年以上の歴史を持つ神仏具制作・卸のメーカーです。近年では、おりんの音色を日常生活でより身近に楽しんでもらおうと、オリジナル商品の開発を行っています。久乗のおりんにはリラックス効果が認められ、公共の場でも広く採用されています。■<http://www.kyujo-orin.com>

野々山籐屋が新型コロナ感染防止策として新カタログを製作。

モニターがなくても、接触を控えて情報を得られる展示方法に。フルオーダーの注文も継続中



籐一筋30年。愛知県で籐むしろを作る有限会社野々山籐屋は、コロナ禍でも販売店にきたお客様が安心して商品情報に触れられるよう、PR方法を見直して新しいカタログを製作しました。

カタログは自立ができ、広げた状態で全てのページを見られるので、手で触れなくても籐のもつ消臭効果のデータや調湿性能を一目で見ることができます。厚みのある紙を使うことで、詳しく知りたい部分はペンなどを使ってページをめくることが可能です。また、表面を耐水加工することにより、除菌シートなどで拭くこともできます。

現在、リビングデザインセンターOZONE内の、monovaショールームとOZONE3階カタログライブラリーにて新カタログを展示中です。持ち帰りのできる配布用カタログには、自宅で広げて籐のマットの設置イメージができるポスターも付け、接客時間を短縮しながら商品の魅力を伝えられる工夫もしています。

時代の変化に合わせた展示スタイルを取ることで、詳しい説明を必要としていたオーダーシステムが無人でもわかりやすくなり、脱衣室やトイレの籐むしろのフルオーダーにも繋がっています。



【ウイルスの不活性化が期待される、野々山籐屋の籐むしろ】

籐は熱帯地域に生息するヤシ科のつる性植物。自然素材の中でも特に優れた多孔質素材のため、「高い調湿・消臭・吸水性」をもっています。マットとして室内に敷いたり、置き型の消臭材として使用することで快適な空気環境を保ちます。そして、風呂場やトイレなどでの吸水に役立ちます。

野々山籐屋では、籐がもつ自然の消臭・吸水効果に加えて、独自開発した触媒を散布させることで、吸い込んだ臭い成分を分解させる「消臭ラタン」を開発しました。「雑菌の分解・ウイルスの不活性化」機能も持っているため、清潔さだけでなく安心ももたらしてくれます。ウイルス対策が特に必要とされるいま、是非インテリアとして取り入れていただきたいアイテムです。

* 触媒の安全性について、詳しくはカタログのp.24に掲載 (<http://www.nonoyama-touya.com/1.pdf>)

籐むしろ参考価格 (商品・サイズ・価格)

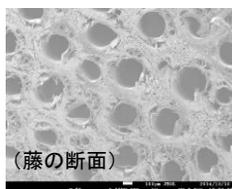
オーダー・・・1㎡＝¥31,000+ 税～

マットS / W500×H400mm / ¥8,200 + 税

マットM / W600×H450mm / ¥10,770 + 税

マットL / W700×H500mm / ¥13,650 + 税

※防炎性能試験の基準に適合した防炎商品です。
消防庁登録者番号 FE-23-0316



【有限会社野々山籐屋】愛知県東郷町にて籐職人の野々山夫妻2人で営む籐専門の会社です。古くから床材や家具の素材として日本人の暮らしに活用されてきた籐の研究を重ね、近年、籐の心地よさに消臭効果があることが分かりました。そこで、野々山夫妻は籐敷物のほかに身近に使える消臭雑貨として「ムッシュラタン」シリーズを発表するなど、籐の可能性を広げる活動をしています。

■ <http://www.nonoyama-touya.com/>